

# サハリン樺太史研究会

## 第29回例会

～博物館と国境標石～

2014年1月25日(土)

北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W202 室

書評会 13:30～15:30

・書籍：舟山廣治編著『樺太庁博物館の歴史』

(北海道北方博物館交流協会、2013年)

・評者：池田裕子(稚内北星学園大学)

(「樺太庁師範学校における樺太史教育」『日本の教育史学』第52号、2009年など)

田村将人(札幌大学)

(「サハリン先住民族ウイラタおよびニヴフの戦後・冷戦期の去就」

蘆信三編著『帝国以後の人の移動』勉誠出版、2013年など)

休憩 15:30～16:00

研究報告 16:00～17:30

・相原秀起(北海道新聞社)

「北緯50度 国境線に立つ」

(「国境標石物語」岩下明裕編『別冊環No.19 日本の「国境問題」：現場から考える、2012年

『新サハリン探検記：間宮林蔵の道を行く』社会評論社、1997年、など。)

舟山廣治 編著

樺太庁博物館の歴史

- ・会員以外の方もご自由にご参加ください。
- ・書評会には編著者陣も参加予定です。
- ・研究報告では写真・映像の映示を予定しています。
- ・例会後に懇親会を予定しております。
- ・お問合せ：サハリン・樺太史研究会

<http://sakhlinkarafutohistory.com/home.html>

\*HPのお問合せフォームをご利用ください。

北海道北方博物館交流協会

背景写真：仲摩照久『日本地理風俗体系 14巻 北海道および樺太』(新光社、1930年)  
秋山春五郎『樺太写真帖』(1911年)

舟山廣治 編著

